

研究機関：広島大学

研究課題名	頭蓋内腫瘍における腫瘍塞栓後症候群の検討
研究責任者名	広島大学医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
研究期間	2022年6月23日(倫理委員会承認後)～2025年12月31日
対象者	2000年1月から2022年3月の間に、広島大学病院脳神経外科で頭蓋内腫瘍に対して腫瘍栄養血管塞栓術を受けられた患者さん。
意義・目的	腫瘍塞栓後症候群は腫瘍栄養血管塞栓後に一過性に悪心・嘔吐、疼痛、発熱を伴う症候群と定義されます。また頭蓋内腫瘍においては一過性に神経脱落症状を伴う場合は、postembolization neurological syndrome (PNES) として報告され、注意が促されています。腹部領域では一般的な合併症として認知されていますが、頭蓋内腫瘍で検討した報告はあまりありません。本研究では頭蓋内腫瘍における腫瘍塞栓後症候群及び PNES について検討を行い、その病態について明らかにすることが目的です。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は病歴、年齢、身長、体重、性別、血液検査、画像所見、病理所見です（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5227 広島大学病院脳神経外科 クリニカルスタッフ 清水 陽元